

江州音頭だより

第 52号

令和8年(2026年)3月1日発行

滋賀県江州音頭普及会事務局 TEL 077-528-3743 / FAX 077-528-4877

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1 (滋賀県観光振興局内)

ホームページはこちらから →



日本の伝統芸能は、長い歴史の中で育まれ、地域ごとの特色や技術、精神性を受け継いできました。しかし、現代社会においては、その継承にさまざまな課題が存在し、未来へと伝えていくための取り組みが求められています。滋賀県を代表する江州音頭にとってもこの課題は同じです。

今年度フェスタを担当するにあたり、昨年度から実行委員として参加したなかで、一番の課題と感じたのは、やはり後継者不足でした。参加者の平均年齢はとも高年齢化しています。これは、いままでも、かつての江州音頭黄金時代を支えた世代に依るところが大きかったからだと思います。

一方で、現代の若者にとつての伝統芸能は馴染みの薄いものになっているのが現実です。盆踊りや運動会で江州音頭を踊る機会も減りました。習得が口伝や実演を通じて行われることも現代のお稽古事情にはそぐいません。いわゆる時代とのギャップというのでしょうか。

このギャップを埋めようと思うと、すぐ思いつるのは、現代的なアレンジや新たな発信方法の模索ということになるのですが、これはこれで、何に変化を加え、何を残して伝えたいのかという意思がはつきりしていなければ、伝統芸能ではなくなってしまう。特にレクリエーションに組み込む試みは過去にも行われ、伝



統芸能に影響を与えてきていますから、中途半端に手を加えるよりは、課題は課題で認識しつつ、このまま維持していくのが賢明ではないかと思ったりします。

そう考えるとフェスタは、地元で傳承されてきた音頭と踊りを出場基準としたイベントとして25年も続いているのですから、郷土芸能継承の役割を果たしてきたといえるでしょう。

いまでできることの一つとして、記録の作成があります。コロナや震災などで技術や知識の断絶は現実のものになりました。昔から「覚え」を作ることは行われてきたことなので、記録媒体が多様になったいま、これを活用しない手はありません。去年と今年、記録保存に取り組んだことは成果でした。

またいつか、近江の江州音頭を盛り上げようという機運が高まったとき、後世にしっかりと伝えようとならば、郷土愛あふれる人たちがいたといってもらえるように、これからも何が必要かを見極め、歴史をつなぐ役割を果たしていきたいと思っています。

又、京都大会では誇りある江州音頭普及のため事前の選考委員会で十名の代表選出を頂き、八月二十二日、ロームスクエアで実施されました。多数の京都府民ファンの手さばき踊りと熱気ある口演ぶりが一体し九十分間がアツと言うまに終了。

千秋楽直後には、「素晴らしい音頭で感動した」との握手を求めファンが飛び出し実に楽しいフェスタが印象的でした。

これもひとえにスタッフの皆様と口演者、踊り手ご協力者皆様のお陰と感謝しております。



千壽會は、稽古を地区公民館において毎週一回、正調江州音頭を地域の方々に楽しんでもらいたいとの思いで行っています。

音頭一節に対して「ここは尻上がりを取らないと踊れない」、「掛かりのアアが弱いと続いてサテワと出ないやろ」、「おとしをしつかり落とせば、続いてソリヤーと出るやろ」と次々と言葉が飛んできます。

そんな稽古の成果を披露する場として、公民館の文化祭サークル発表があり、私たちのサークルは、津軽三味線と踊りのサークルが合同で参加しました。三味線の音色が響き、踊り手さんが楽しく踊られたのに誘引されてか小学生もいつしか輪の中で身振り手振り笑顔となっていました。古風な伝統の踊りを皆で輪になって楽しむことを感じてもらえたような気がします。江州音頭を踊るきっかけづくりができれば普及につながると思います。

私達聖徳会は、先輩方の尽力を頂き、五年前に八日市普及保存会を発足させ半年後に道場である音頭会館もオープンにこぎ着け昨年滋賀県江州音頭普及会に入会させて頂きました。新米乍らメイン大会の開催は大変不安でしたが、実行役員の皆様や、聖徳会員に支えられ無事開催できた事を喜んでいます。

滋賀大会の会場、東近江市内の湖東コミュニティセンターではニューフェイスからベテラン迄、五十五名の参加があり、情熱あふれる音頭節と表現、それに多くの人々が参加して輪になって踊る光景は、私達音頭発生地として意義深い事に感銘を受けました。

江州音頭フェスタinしが2025
実行委員副委員長 花本 久嗣
(桜川 小愛香)

音頭フェスタ滋賀・京都大会を振り返って

子ども向け 江州音頭教室情報



各団体では、主に小学生・中学生向けに江州音頭教室を開催しています！各学校への出張教室も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

大津江州音頭保存会

教室名：江州音頭 大津駅前教室
講師：桜川 伯山
対象：小学生
場所：大津市役所 逢坂支所
とき：第4金曜日 16:00～
受講料：無料
連絡先：090-8146-9818 担当/松本

聖徳会

教室名：江州音頭教室（音頭と踊り）
講師：聖徳会会員
対象：小学生～大人
場所：東近江江州音頭会館
とき：応相談
受講料：無料
連絡先：050-5801-1169 (土日 10:00～16:00) : 080-9102-4053 担当/森

豊郷町江州音頭保存会

教室名：江州音頭子ども教室
講師：藤野 恵津子・竹川 富美子 上田 栄子・金谷 星美
対象：小学生・中学生
場所：豊栄のさと
とき：毎月第3金曜日 19:30～
受講料：無料
連絡先：0749-35-8010 (事務局) 担当/豊栄のさと 社会教育課・内田

令和6年度 滋賀県江州音頭普及会事業収支精算書

(収入) 単位:円

区分	当初予算額	精算額	差引	摘要
県補助金	1,900,000	1,900,000	0	県観光振興局補助金
会費収入	170,000	162,000	△ 8,000	@1,000×162人
協力金等	14,000	23,000	9,000	CD等の売上
繰越金	120,179	120,179	0	
雑入	821	5,157	4,336	広告費、預金利息等
計	2,205,000	2,210,336	5,336	

(支出) 単位:円

区分	予算額 (補助対象経費)	精算額 (補助対象経費)	差引 (補助対象経費)	摘要
1 情報発信事業費	850,000	680,026	△ 169,974	江州音頭フェスタ 開催費 (630,026円) 江州音頭だより (50,000円)
2 県内・県外普及活動 参加団体等への助成	270,000	216,196	△ 53,804	県内 16,196円×1団体 県外 200,000円×1団体
3 江州音頭盆踊り大会の開催	1,000,000	1,000,000	0	江州音頭フェスティバル 京都大会開催負担金
4 会議費	35,000	13,440	△ 21,560	会場借上代
運営費	10,000	53,197	43,197	消耗品等
通信費	40,000	10,120	△ 29,880	切手代・支払手数料等
次年度繰越金		237,357	237,357	
計	2,205,000	2,210,336	5,336	

うち県補助金額1,900,000円

江州音頭だより 第52号 編集委員

立花 守/西村 清子/平松 百合子/藤田 孝子/松本 敦三 (五十音順)

編集後記 会員の皆様から活動報告など、たくさんのお便りをいただきありがとうございました。紙面作成にあたり、いただいたお便りの表現を一部、事務局で変更させていただいたこととお詫び申し上げます。今後も、滋賀県江州音頭普及会では、一人でも多くの方に江州音頭に触れていただくため、各地で江州音頭の普及と継承にご尽力いただいている皆さまの活動や近況などについて発信してまいります。

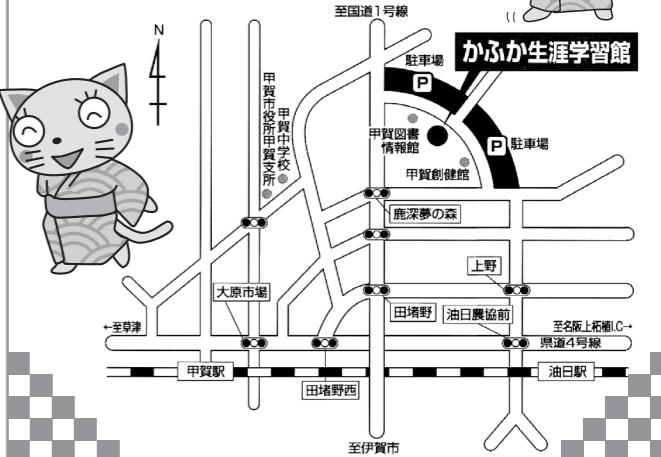
〒520-8577
滋賀県大津市京町四丁目1-1 県庁観光振興局内
滋賀県江州音頭普及会事務局
TEL 077-528-3743 FAX 077-528-4877

みんなと一緒に
楽しく踊りましょう!
どなたでもご参加いただけます!

江州音頭フェスタ inしが2026

日時 令和8年 6月14日(日)
13:00 開演(予定)

場所 かふか生涯学習館
甲賀市甲賀町大原中886



活動報告

桜川昇龍(門会 昇山会) 二代目 桜川昇山(中越 宗晴)

桜川昇龍一門会、昇山会二代目昇山を拜命致しまして二年余り先代岡田師匠全盛期には、年間十九ヶ所程...

活動報告

桜川昇龍(門会 昇山会) 桜川昇美(秦美 智子)

2025年度の江州音頭フェスタにニューフェイス(新人の部)で出演させて頂きました。郷土芸能江州音頭・音頭取りへの第一歩です。

郷土芸能江州音頭 京都北山公演

寿賀廻家(門会 羽瀨清信) 三代目 桜川小寿賀富士(羽瀨清信)

寿賀廻家一門三代目桜川小寿賀富士こと羽瀨清信でございます。今夏8月23日(土)二代目桜川奈美子師匠にご縁を...



私も父から江州音頭を習い始めて間もなく50年を迎えようとしておりますが、本場の滋賀県も負けずに江州音頭の輪を広げていかな...



大阪・関西万博に出演して

桜川怡山(門会 藤田 孝子)

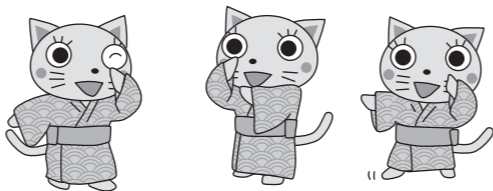
滋賀県各地の夏まつりや地域の行事、施設訪問などに出演することは多かったけれど、今年度は、大阪・関西万博の「滋賀県デー」に於いて、エキスポホール(シャインハット)で江州音頭を披露した。



「高円宮妃」久子様をお迎えして、江州音頭を披露

豊郷町江州音頭保存会 会長 藤野 恵津子

今年、国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会が滋賀県で開催され、大会に伴いまして、10月26日(日)には、皇室の「高円宮妃」久子様を豊栄のさにお迎えすることができました。



今年度は、「大阪・関西万博」7月24日滋賀県アイにシャインハットの素晴らしい舞台で江州音頭を披露でき、世界中に発信できたことが思い出に残りました。



海水浴と音頭ネタツアー

よし乃家 櫻川隆月(松本 隆)

本年度、私の音頭ネタツアーは、海水浴から始まった。7月19日、長女、次女の両家族が和歌山加太浦へ、孫の見守りを兼ねて海水浴に連れて行ってもらった。

イベント出演

豊郷町江州音頭保存会 細江 和子



また、玄関に入ったエントランスホールには、扇踊りや太鼓を披露するからくり人形の時計があります。そして、文化ホールの緞帳には、千樹寺で観音盆が営まれ、扇や日傘を持つ踊る人々の姿が刺繍されています。

イベント出演

豊郷町江州音頭保存会 細江 和子

私は、彦根市から豊郷町に転居した時に、伝統ある江州音頭があることを知り、入会して早33年の月日が経過しました。最初は絵日傘踊りや、扇踊りが難儀でしたが、先輩たちのご指導のおかげで、今ではあちこちのイベントに参加しております。

しばらく子ども達の遊びを見守っていたが何分にも暑いので、ライフジャケットを貸してもらって海に入った。若い頃水泳には多少自信があったのに、泳いでいるつもりがもがいているように見えたようで孫に「じいちゃん大丈夫か」と声をかけられた。



今シーズン、茨木の耳原ふるさと祭や吹田の願成寺の他6か所の「櫓」はこの歌で音頭を締めくくった。